

1 本計画について

(1)位置づけ

本計画は、板橋区基本構想や板橋区基本計画2025で示された施策を環境面から具体化するとともに、国や都の計画並びに、いたばしNo.1実現プラン及び区の関連個別計画と相互に整合・連携を図っていくものである。

(2)計画期間

板橋区基本計画2025の計画期間との整合を図り、平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間としている。

(3)指標

○環境指標(成果指標)

基本目標に対する達成状況を評価する

○活動指標

環境施策の活動状況を把握する

(4)指標の達成状況

環境指標の進捗状況について、「順調」に移しているものが3項目、目標値に向かっているが小幅にとどまった「漸進」が5項目、改善が見られない「停滞」が7項目となった。

活動指標の進捗状況について、「進展」しているものが10項目、「横ばい」が10項目、「後退」が15項目となった。

2 令和5年度の総括

(1)進捗状況の評価

「板橋区環境基本計画2025」では、「人と緑を未来へつなぐスマートシティ」をめざし、各種施策に取り組んできた。区民生活や事業活動では、エネルギーを効率的に生み出し使用するライフスタイルの定着が進められたほか、区役所を中心に再生可能エネルギーの活用や家庭におけるごみ減量の取組みが進められ、持続可能なゼロカーボン(脱炭素社会)を実現するまちづくりに向けた前進が図られた。また、広大な河川敷を有する荒川や美しい桜並木に彩られる石神井川など、緑ときれいな空気に囲まれ、自然環境の保全が図られている状況にある。なお、コロナ禍以降の環境教育・環境学習の活動の回復が課題となっている。

(2)今後の方向性

区民生活や事業活動では、エネルギーを効率的に生み出し使用するライフスタイルの一層の定着を推進するほか、ごみ減量や食品ロスの取組みを通じて資源循環を推進していく。

都市部における貴重な資源である緑や水の自然を保全していくために、石神井川をはじめとした河川の水質確保を図るほか、公園をはじめとした緑の保全を図っていく。

また、大気汚染や騒音等の対策の取組みを進め、区民生活等の基盤を支えるとともに、環境を支える人づくりでは、区・区民・事業者が協働して、環境に関して「知る・学ぶ・行動する」活動のすそ野を広げていく。

3 基本目標の進捗状況

基本目標1 脱炭素社会の実現

(1)進捗状況の評価

区内の温室効果ガス排出量は、社会全体でコロナ禍からの経済活動の回復により増加となった背景を受け、前年度から増加となっている(2.5%増:成果指標「漸進」)。2050年温室効果ガス排出量に向けては、目標水準に近い状況であり、今後も区・区民・事業者の一体となった取組を推進していく。

温室効果ガス排出量削減

(2)今後の方向性

区民生活では、「いたばし環境アクションポイント事業」の実施により、省エネ行動の定着が進みつつあるが、事業活動における省エネ行動の定着を進める必要がある。東京都とも連携し、事業者の省エネ行動を支援する施策の活用を進めるとともに、事業者のニーズにマッチした施策を検討していく。

いたばし環境アクションポイント事業と事業者支援の推進



基本目標2 循環型社会の実現

(1)進捗状況の評価

ごみの減量が順調に移している。区民一人当たりの一日のごみ排出量は、ごみ減量や食品ロスの削減への区民意識の定着を背景に、令和7年度の目標値を前倒して達成する状況となっている(成果指標「順調」)。また、リサイクル率は、資源の回収量が減少しているため、前年度比微減となっており、その向上が課題である(成果指標「漸進」)。

ごみ排出量の減少

(2)今後の方向性

令和6年度から区内全域に拡大したプラスチック再資源化事業を推進し、さらなるごみの減量とリサイクル率の向上を図っていく。



プラスチック資源化を踏まえたリサイクル率の向上

基本目標3 自然環境と生物多様性の保全

(1)進捗状況の評価

公園率は、前年度から変化はないが、都市部の貴重な緑の資源として、広大な河川敷を有する荒川や身近な憩いを与える石神井川などの水の資源とともに、保全に努めている。令和5年度は、石神井川の水質(生物化学的酸素要求量)が悪化しているが(成果指標「停滞」)、天候による影響や上流調整池からの放水による影響が由来するものと捉えられる。

緑や水の資源の維持

(2)今後の方向性

公園の維持を図り、緑の資源の保全を図るとともに、様々な手法により公園率の向上をめざしていく。石神井川をはじめとした河川の水質の確保については、引き続き水質調査を通して状況の把握を行うとともに、雨水タンク等の普及を図り、河川にきれいで豊かな地下水が流れ込む環境を高めていく。

緑や水の資源の保全



基本目標4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現

(1)進捗状況の評価

板橋区の空気は、良好な状況である。微小粒子状物質(PM2.5)は、基準値Bレベル以上の日数が昨年に続いて0日となっている。(成果指標「順調」)(自動車)騒音については、環境基準の達成率が前年比で概ね横ばい推移しており、傾向としては、昼の達成率が高く、夜の達成率が低くなっている(成果指標「停滞」)。公害に関する相談は減少しており、区民生活において、生活環境が確保されている状況がうかがえる。一方で公害苦情件数は横ばいの状況にあり、内容は大気や水質ではなく騒音に関するものが多くなっている。

良好な生活環境の維持

(2)今後の方向性

(自動車)騒音に係る環境基準の達成率については、国や東京都に道路交通騒音対策である自動車単体の対策強化のほか、交通量対策、道路構造の改善などに区の状況の情報提供を行っていく。また、公害に関する苦情・相談に対しては、きめ細やかな対応を行い、必要に応じて公害の発生源に対する指導を行うなど、区民等の生活環境の確保にあたっていく。

生活環境(公害)に関するきめ細かな相談・指導対応

基本目標5 「環境力」の高い人材の育成

(1)進捗状況の評価

令和5年度の「環境力」の高い人づくりに向けては、「板橋エコみらい塾」等の講座や、区立小中学校等における環境教育プログラムの実施を中心とした取組みが行われた。環境教育プログラムは、実施校等が増加しており、定着の状況がうかがえる(成果指標「漸進」)。人材育成をテーマとした環境講座や外部人材の導入は、横ばいの実績で推移しており、幅広い視点から環境教育に取り組むことが課題となっている(成果指標「停滞」)。

環境教育プログラムの着実な実施

(2)今後の方向性

人材育成をテーマとした環境講座や環境教育プログラムは、継続した取組みを進め、環境教育の基盤を高めていく。人材育成をテーマとした環境講座等に多くの区民の方に参加いただけるよう、DXの活用をはじめ企画内容や周知等について工夫を凝らしていく。外部人材の活用については、実施者による人材確保だけでなく、エコボリスセンターのネットワークを活用・拡充し、幅広い視点から環境教育に取り組んでいく。

環境教育へのDXの活用などの機械充実やネットワーク拡充



基本目標6 パートナーシップが支えるまちの実現

(1)進捗状況の評価

令和5年度、区内の環境登録団体数は23団体(前年比2団体減、成果指標「停滞」)。団体の中には、区立小中学校と連携し、環境講座に関する出前講座を年間を通して行うなど、地域の環境教育の担い手となっている。また、エコボリスセンターが実施する事業には、区民や学生、環境登録団体など多くのボランティアが参加している。参加者数は減少となっており(成果指標「停滞」)、その裾野を広げることが課題の一つである。その他、地域には、環境に関する自主的な活動に取り組んでいる団体等があり、環境のまちづくりを支えている。

(2)今後の方向性

団体や大学等との連携を深め、ボランティアとして関わる契機を広げていくほか、「板橋エコみらい塾」等により指導者養成を図り、環境のまちづくりを支える人材育成にあたっていく。また、環境に関する自主的な活動に取り組んでいる団体等の活動は、貴重な資源であり、引き続き連携・協働を図っていく。

自主的な環境活動のすそ野の拡大とボランティア等との連携推進

■ 板橋区環境基本計画 2025 環境指標一覧（令和5年度実績）

基本目標	環境指標（成果指標）				活動指標			
	順調	漸進	停滞	その他	進展	横ばい	後退	その他
1 脱炭素社会の実現	0	1	0	1	1	1	3	3
2 循環型社会の実現	1	1	0	0	3	2	2	2
3 自然環境と生物多様性の保全	1	0	2	1	5	2	4	0
4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現	1	0	1	0	3	1	0	5
5 「環境力」の高い人材の育成	0	3	1	0	4	0	4	0
6 パートナーシップが支えるまちの実現	0	0	3	1	0	4	2	0
計	3	5	7	3	16	10	15	10

指標名	基準年値 平成 26 年度	めざす 方向性	目標値 令和 7 年度	実績値 令和 4 年度	実績値 令和 5 年度	進捗率	進捗度 ※10
基本目標 1：脱炭素社会の実現							
区内エネルギー消費量※1 （熱量換算）	—	—	—	20,194TJ※4	20,545 TJ※5	—	—
区内温室効果ガス排出量	231.8 万t-CO ₂ ※2	↘	162.3 万t-CO ₂ ※3	190.9 万t-CO ₂ ※4	195.5 万t-CO ₂ ※5	52.2%	漸進
基本目標 2：循環型社会の実現							
区民一人当たりの一日の ごみ排出量	689 g※6	↘	598 g※7	622 g	598 g	100%	順調
リサイクル率	21.5 %※6	↗	28.0 %※7	22.0 %	21.8 %	4.6 %	漸進
基本目標 3：自然環境と生物多様性の保全							
区全体の植生被覆率	18.3 %	↗	21 %	— ※8	— ※8	—	—
公園率	5.9 %	↗	6.1 %	5.9 %	5.9 %	0%	停滞
石神井川における生物化学的 酸素要求量（BOD75%値）	0.7 mg/L	—	1.0 mg/L 以下	0.9mg/L	1.3 mg/L	50%	停滞
白子川における生物化学的酸 素要求量（BOD75%値）	3.8 mg/L	↘	2.0 mg/L 以下	2.7mg/L	2.2 mg/L	88.9%	順調
基本目標 4：快適で健康に暮らせる生活環境の実現							
微小粒子状物質(PM2.5)の基 準値 B レベル以上の日数	25 日	↘	23 日	0 日	0 日	100% 以上	順調
騒音に係る環境基準の達成率	79 %	↗	85 %	77 %	77.4 %	0%未満	停滞
基本目標 5：「環境力」の高い人材の育成							
人材育成に関わる環境講座参 加者数	199 人	↗	400 人	348 人	243 人	21.9%	漸進
外部人材を活用した環境学習 実施校(園)の割合	76.1 %	↗	100 %	62.2 %	62.2 %	0%未満	停滞
環境教育プログラム利用校 (園)の割合	74.4 %	↗	100 %	78.4 %	83.8 %	36.7%	漸進
エコ生活(アクション 9)の実 施状況	75.0 %	↗	100 %	83.8 %	82.7 %	30.8%	漸進
基本目標 6：パートナーシップが支えるまちの実現							
全区民参加型環境保全キャン ペーン参加者数	25,674 人	↗	31,500 人	16,675 人※9	18,388 人※9	—	—
エコポリスセンター事業への ボランティア等参加者数	990 人	↗	1,300 人	738 人	622 人	0%未満	停滞
環境登録団体数	27 団体	↗	37 団体	25 団体	23 団体	0 %未満	停滞
環境学習講師派遣人数	363 人	↗	500 人	258 人	329 人	0%未満	停滞

※1：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の令和2年度までの指標のため、実績のみ参考値として掲載した。

※2：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の基準年値（平成25年度）

※3：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の目標値（令和7年度）

※4：令和2年度（オール東京62市区町村共同事業「特別区のエネルギー消費量」より）

※5：令和3年度（オール東京62市区町村共同事業「特別区の温室効果ガス排出量」より）

※6：「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の基準年値（平成 27 年度）

※7：「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の目標値（令和 7 年度）

※8：植生被覆率は 5 年ごとの調査（参考 令和元年度実績は 18.1%）

※9：キャンペーンの一つである打ち水キャンペーンについては、従来行っていた一堂に集まって行う手法から個人で個別に行う方針としたため、参加者数の把握が困難なことから指標の実績はその他キャンペーン（春・秋の板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン）の参加者数を参考値として掲載した。

※10：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。

順調	基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が 100%以上になるもの 基本目標 1 の「区内温室効果ガス排出量」については、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」において、基準年値を平成 25 年度とし目標値を令和 7 年度の 12 年間で設定しているため、1 年間でおおよそ 8.33% 数値が改善したものを「順調」とし、今回は令和 3 年度の評価となるため 8 年目の 66.6%を上回れば「順調」とした。基本目標 2 については、「板橋区一般廃棄物処理基本計画 2025」の計画期間が平成 30 年度から始まる 8 年間で令和 5 年度は 6 年目にあたるため、進捗率は 75%以上になるものを「順調」とした。
漸進	基準年値と比較して改善はしているものの、このままのペースで推移した場合に 100%に届かないもの
停滞	基準年値と比較して 0%以下になるもの

■ 板橋区環境基本計画 2025 活動指標一覧（令和 5 年度実績）

指標名		基準年値 平成 26 年度	めざす方向 性	実績値 令和 4 年度	実績値 令和 5 年度	進捗度※7
基本目標 1	▶環境施策 1－①：区民・事業者における省エネ・再エネの推進					
	区内の住宅用太陽光発電システム導入発電容量	—	—	—※1	—※1	—
	区公共施設における緑のカーテン実施施設数	180 施設	↗	162 施設	160 施設	後退
	環境マネジメントシステム新規構築事業所数	14 事業所	↗	6 事業者	2 事業者	後退
	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助件数	347 件	↗	—※2	—※2	—
	▶環境施策 1－②：建物や交通などインフラの低炭素化の促進					
	「板橋区建築物等における省エネルギー・環境配慮に関する指針」に基づく省エネ建築物受付件数	57 件	↗	36 件	37 件	後退
	街灯の更新	— 基	↗	602 基	1,193 基	—
	区役所で使用している自動車の低公害車率	74 %	↗	70 %	70.8 %	横ばい
	自転車道整備延長距離（累計）	4,670m	↗	5,560m	6,960m	進展
基本目標 2	▶環境施策 2－①：板橋かたつむり運動の推進					
	ごみ減量に関する出前講座の実施回数	43 回	↗	43 回	44 回	横ばい
	資源回収品目数	11 品目	↗	11 品目	12 品目	進展
	リサイクル推進員研修会参加者数	433 人	↗	275 人	187 人	後退
	小型家電の資源売却量※3	544,570 kg	↗	438,999 kg	431,117 kg	後退
	いたばしエコ・ショップ（ゴールド）認定数	—	—	—※4	—※4	—
	▶環境施策 2－②：適正で効率的なごみ収集・処理体制の構築・運用					
	家庭ごみの排出量（可燃・不燃・粗大ごみ）	110,742 t	↘	104,328 t	101,016 t	進展
	事業系ごみの排出量（可燃持ち込みごみ）	29,520 t	↘	30,020 t	28,306 t	進展
	資源の回収量	13,869 t	—	14,079 t	13,768 t	—
基本目標 3	高齢者・障がい者などに対する戸別収集件数	783 件	↗	916 件	908 件	進展
	集団回収登録団体数	883 団体	↗	893 団体	896 団体	横ばい
	▶環境施策 3－①：板橋らしい良好な緑や水環境の保全・創出					
	緑化指導に基づく緑化箇所数	90 件	↗	87 件	135 件	進展
	緑化指導に基づく緑化面積	59,617 m ²	↗	10,340 m ²	11,606 m ²	後退
	地域がつくる公園制度導入公園数	27 公園	↗	28 公園	27 公園	横ばい
	花づくり活動登録グループ数	83 グループ	↗	85 グループ	83 グループ	横ばい
	保存樹木指定本数	1,842 本	↗	1,689 本	1,652 本	後退
	雨水流出抑制量	4,119 m ³	↗	10,610 m ³ ※5	10,502 m ³ ※6	進展

※1：※2 の事業終了に伴い評価対象外

※2：令和 3 年 3 月末にて事業終了

※3：小型家電の資源売却については、金属価格の変動の影響を受けるため、基準年値・実績値ともに「資源回収量」を掲載した。

※4：平成 30 年 3 月末にて事業終了

※5：令和 3 年度実績値

※6：令和 4 年度実績値

※7：進捗度の定義は次のとおり。

進展 基準年値に対して実績値が 5 % 以上増加したもの（「めざす方向性」が下向き矢印の場合は減少したもの）

横ばい 基準年値に対して実績値の増減が 5 % 未満のもの

後退 基準年値に対して実績値が 5 % 以上減少したもの（「めざす方向性」が下向き矢印の場合は増加したもの）

指標名		基準年値 平成 26 年度	めざす方向 性	実績値 令和 4 年度	実績値 令和 5 年度	進捗度
基本目標 3	▶環境施策 3-②：自然とのふれあい促進や自然の恵みの享受					
	グリーンフェスタ参加者数	8,073 人	↗	2,593 人	1,994 人	後退
	緑のガイドツアー参加者数	102 人	↗	84 人	125 人	進展
	熱帯環境植物館来館者数	103,925 人	↗	122,830 人	134,317 人	進展
	エコポリスセンター「環境観察員」登録者数	57 人	↗	64 人	63 人	進展
	区民農園応募者数	3,144 世帯	↗	2,555 世帯	2,476 世帯	後退
基本目標 4	▶環境施策 4-①：大気汚染や騒音などのない生活環境の保全					
	公害苦情件数	251 件	↘	228 件	255 件	横ばい
	公害相談件数	2,182 件	—	927 件	489 件	—
	公害関係法令に基づく改善指導件数	201 件	—	203 件	219 件	—
	「板橋区大気情報公開システム」アクセス件数	458,533 件	↗	347,419 件	0 件※8	—
	環境調査に関する情報のツイッター発信数	25 件	↗	125 件	136 件	進展
	▶環境施策 4-②：潤いのある景観や美しい街並みの保全					
	景観形成重点地区指定数	4 地区	↗	5 地区	5 地区	進展
	「板橋クリーン作戦」参加者数	18,721 人	—	16,459 人	17,203 人	—
	「板橋クリーン作戦」におけるごみ回収量	6,600 袋	—	6,127 袋	5,597 袋	—
基本目標 5	▶環境施策 5-①：環境教育の推進、環境保全活動を担う人材の育成					
	環境講座・教室開催回数	677 回	↗	583 回	730 回	進展
	環境講座参加者数(人材育成に関わる講座を除く)	22,898 人	↗	15,261 人	16,916 人	後退
	環境学習講師派遣人数	363 人	↗	258 人	329 人	後退
	環境学習施設の入館者数	270,195 人	↗	287,511 人	298,269 人	進展
	環境講座受講前後の知識・考え方の変化	63 %※10	↗	86.4 %	83.7 %	進展
	▶環境施策 5-②：わかりやすい環境情報の発信					
	区から発信する環境情報の更新回数	356 件	↗	1,523 件	1,279 件	進展
	環境イベント等開催回数	244 回	↗	181 回	196 回	後退
	環境イベント等参加者数	96,949 人	↗	22,487 人	26,784 人	後退
基本目標 6	▶環境施策 6-①：環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり					
	ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数	183 件	↗	181 件	175 件	横ばい
	自主講座支援回数	2 回	↗	1 回	1 回	後退
	喫煙マナーアップ推進員人数	157 人	↗	79 人	48 人	後退
	集団回収登録団体数【再掲】	883 団体	↗	893 団体	896 団体	横ばい
	地域がつくる公園制度導入公園数【再掲】	27 公園	↗	28 公園	27 公園	横ばい
	花づくり活動登録グループ数【再掲】	83 グループ	↗	85 グループ	83 グループ	横ばい

※8：「板橋区大気情報公開システム」は令和 4 年度で事業終了

※9：平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月までの 10 か月間の平均値

※10：平成 28 年度実績値